

■ 特集

出番です!! 平成26年産米

ぼくのわたしのお母さん



## うれしいチーズ入り！ ミートソース・ライス

《材 料》

- ご飯……………茶わん 3 杯分
- 市販のミートソース…250～260 g
- ピザ用のナチュラルチーズ  
…………… 100 g
- 油……………少々
- 卵 薄焼き卵を作っておく… 2 個
- イタリアンパセリ……………少々

《作り方》

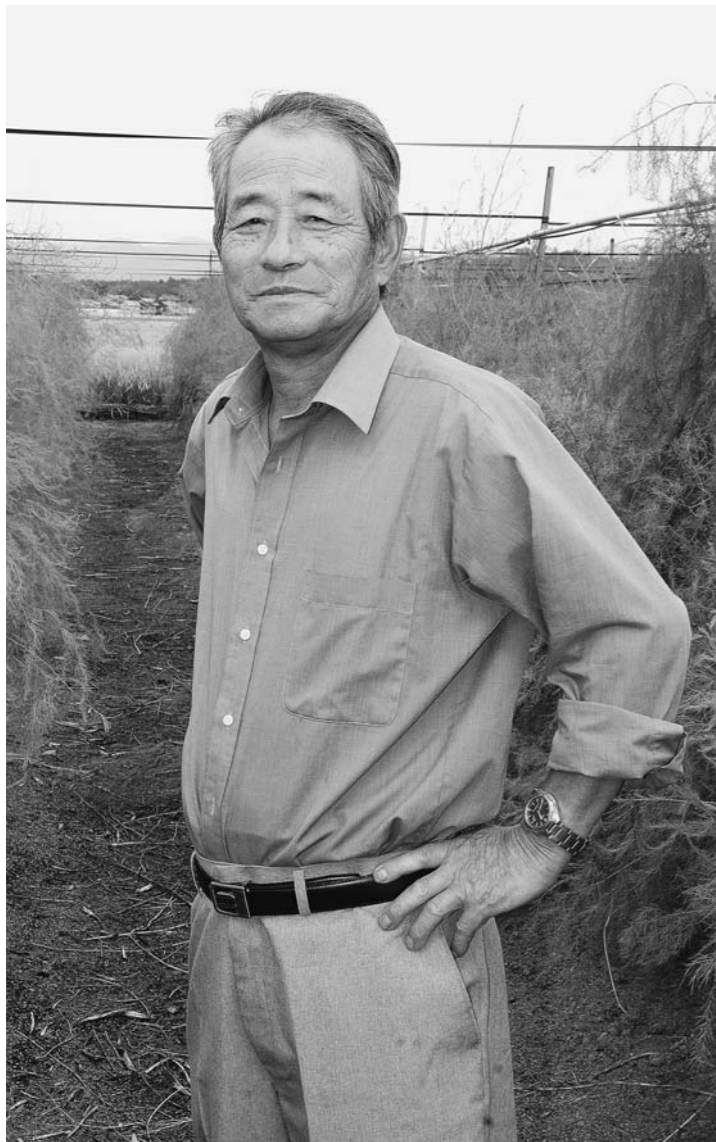
- ①ご飯・ミートソース・チーズを、木べらなどでよく混ぜる。
- ②フライパンに油を引き、中火で熱してから①を入れる。
- ③中火で焼きながら、フライパンによく押しつけて形を整える。
- ④焼き目がついたら、フタなどを使って、形が崩れないようにひっくり返す。
- ⑤チーズが溶ける程度まで、さらに焼く。
- ⑥皿に移して、薄焼き卵を上のにせる。
- ⑦イタリアンパセリで飾り付けてできあがり。

子供にも喜ばれる、ミートソースとチーズの組み合わせ。冷やごはんを利用して手軽に作れます。薄焼き卵は、切っただけのものが我が家流。かぶせるように大きくのせればオムライス風になります。イタリアンパセリがないときは、ササギのゆがいたものでも良い彩りになりますよ。



大石田町海谷  
菅野 伸子 さん

2003年1月からのレシピを  
ホームページに掲載。  
献立に困ったらすぐアクセス  
<http://www.mitinoku.or.jp/recipe/>



# この農家に聞く。

## 「体の続く限り農業を」 作物の成長を一番の楽しみに

### PROFILE

大石田町田沢  
たかはし しゅういちろう  
**高橋 庄一郎**さん (67歳)

■**水稲50%、アスパラガス50%を栽培**  
退職後に専念できるようになった農業。  
主力のアスパラガスを中心に、愛着を込めて  
さまざまな作物を手がけている。

「**農家になったきっかけは？**  
60歳まで建設業をやっていた  
ましたが、退職後に本格的に  
就農しました。年齢的なもの  
もあるのですが、無理せず好きな  
ことをできるところまでやっ  
てみよう…という気持ちだっ  
たんですが、早朝から作業す  
ることも多いので、かえって  
忙しいかも？(笑)今は妻と一  
緒にやっています。例えばア  
スパラの場合私が収穫して、  
妻が束ねる。そういう役割分  
担です。田んぼは人にお願  
いして、やってもらっています。」

「**農業で感じたことは？**  
農業は難しいです。高温に  
低温、雨など、天候に左右さ

「**一年の仕事の流れを教えてください。**  
減反を利用して、アスパラ  
ガスをメインに栽培していま  
す。作業が始まるのは5月か  
らで、雪どけに合わせて支柱  
を立てて、肥料などを与えま  
す。私のは夏採りのアスパラ  
なんです。これを栽培して  
いるのは大石田では私だけ  
みたい。春だとやっている  
人が結構いるんですが、夏は  
皆すいかを作りますからね。  
すいかは、今の私には重くて  
ちょっと大変です。それに収  
穫の時期も重なるので、両立  
は難しいんですよ。それ以外  
にも、インゲンや青菜、栗も  
栽培しています。栗は、今年  
はなるのが早いですね。」

「**今後の目標を教えてください。**  
時勢に合わせてながら、体の  
続く限り農業をやっていくた  
いです。家庭菜園くらいの規  
模で大根やトマトも作って  
いて、それをおすそわけしたり  
自分ちで食べたりするのも楽  
しいですよ。自分で作った野  
菜は、やっぱり一番おいしい  
です。」

「**就農当時と今の気持ちの変化は？**  
特に大きな心境の変化はな  
いですが、それまでも、いず  
れは家を継ぐつもりで農業を  
していました。もともと  
農業は好きです。だから、改  
まって「農家になった」とい  
うよりも、退職をきっかけに  
して「そっちに集中できるよ  
うになった」という感じでは  
ないです。」

「**農業で工夫していることは？**  
アスパラはずっと連作はで  
きないんです。一つの土壌で  
長ければ10年は採れるけど、  
土の関係でだんだん育たなく  
なって収量も落ちます。です  
から、採れなくなった土壌を  
利用して、秋野菜として「い  
ちず」を栽培しています。イ  
ンゲンの一種で、これならア  
スパラの支柱も利用できます  
がやっています。」



ベターホームのお料理教室

## みそ

### どんな料理にも大活躍！ 日本の万能調味料

古くから日本人になじみ深く、和食には欠かせないみそ。大豆に麴(こうじ)と塩を混ぜて発酵熟成させて造ります。

さまざまな種類があり、使用する麴の種類によって、米みそ・麦みそ・豆みその3種類に分かれます。日本で生産されているみその約8割が米みそです。米みそには西京みそなどの白みそ、信州みそなどの淡色みそ、仙台みそなどの赤みその種類があります。これらは醸造期間などにより、風味、こく、色が異なります。

使うときは、味を見ながら量を調節するのがポイントです。温度が高くなると色が濃くなり風味が変わってしまうため、保存は空気に触れないように密封して冷蔵庫で。保存していると表面にしょうゆのような水分がたまってきます。「たまり」といい、みその熟成が進むとできる物。おいしい成分なので、捨てることなく混ぜて使しましょう。

みそ漬けや魚のみそ煮などにも使われるように、みそには食材の保存性を高める働きや、臭みを取って、風味やこく、うま味をプラスしてくれる働きなどがあります。洋食とも相性が良く、牛乳と合わせて調味するとまろやかなこくが加わります。さまざまな料理に役立つ、奥の深い調味料です。

## 「ぼくのわたしのお母さん」

村山市富並  
かのゆきののり  
**狩野 志典**さん (35歳)  
**多喜**さん (34歳)  
**あおい**ちゃん (3歳)  
**颯斗**くん (1歳)

### 今月の表紙

空の青色と4月の風。あおいちゃんと颯斗くんの名前には、生まれた季節をイメージする言葉が入っています。たまにケンカもするけれど、遊ぶときはいつも一緒。颯斗くんはホウキもちりとりも、身近なものはなんでもおもちゃにしちゃう元気ぶりです。あおいちゃんはお姉さんらしく、颯斗くんに本を読んであげることもあつそうです。

### お母さんからお子さんたちへ

「2人とも自由にのびのび育ってね。素直で優しく、思いやりを持った子になってほしいです!」



### Contents

- 食のはなし/今月の表紙…… 2
- 土が好き…… 3
- みちのく《-ZOOM-ズーム》  
出番です!! 平成26年産米  
…… 4
- みちのくFLASH  
/地域の話…… 5~8
- 平成26年産さくらんぼの  
作柄と今後の対応  
…… 9
- みんなのふれあい広場……10~11
- みちのくほいす  
/クロスワードパズルほか  
……12~13
- ふれあいINFORMATION  
……14~15
- わが家の味じまん……16

2小学校で稲刈り体験学習



▲意外と力がいらいます。稲の結束

9/19  
**楯岡小学校**

村山市立楯岡小学校の5年生106人が「はえぬき」の稲刈り体験学習を行いました。当JAの青年部楯岡支部の指導を受けながら稲を束ねて、木の杭に交互に重ねる昔ながらの「杭がけ」で天日干しにしました。

▼重ねる稲の向きがポイントの「杭がけ」



9/12  
**玉野小学校**

尾花沢市立玉野小学校の2〜6年生49人が稲刈りを体験。尾花沢地区青年部が指導しました。5〜6年生が鎌を使って稲を刈り、結束したものを2〜4年生が運びます。こちらは「はせ掛け」で自然乾燥し、11月には収穫祭で味わいます。



▲稲穂を手にニコリ。  
左から高谷組長、吉村知事、志布市長

吉村知事と刈り取る「つや姫」

山形つや姫ブランド化戦略推進本部は9月21日、村山産業高校の実習田で稲刈りイベントを開催。同本部長である吉村美栄子山形県知事、当JAの高谷尚市組長、村山市の志布隆夫市長が、つや姫レディや同校生徒と一緒に稲刈りを行い、今年でデビュー5年目になる「つや姫」をPRしました。



▲意気込みあふれる頑張ろう三唱

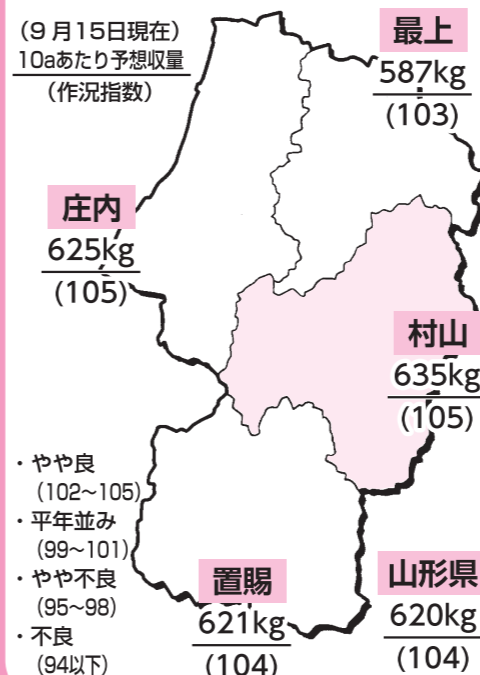
目標440万俵！ 達成をめざす

JAグループ山形は9月5日、平成26年産米の食味・品質向上と集荷拡大をはかるため、山形市で「山形県産米生産集荷拡大推進大会」を開きました。JAグループ山形が一体となり、前年比3%増の440万俵（26万4千ト）の集荷目標達成をめざすことを確認しました。



▲進む荷受け作業(村山中央カントリーエレベーター)

水稻の作柄表示地帯別 作況指数



東北農政局山形地域センターは9月26日、平成26年産水稻の9月15日現在の作柄状況を発表しました。山形県内の10a当たり予想収量は620kg、作況指数は104の「やや良」と見込んでいます。地域別の作況指数では、村山が105（10aあたり予想収量635kg）、最上は103、置賜は104、庄内は105と見込まれています。

◎最盛期に突入

9月18日、尾花沢営農センター管内の福原地区野黒沢検査場所を皮切りに、平成26年産米の検査・買い入れが始まりました。今年の稲の生育は、好天に恵まれたことから稲の生育が早く、平坦部の出穂については「はえぬき」が8月7日頃、「つや姫」が8月10日頃と、ほぼ平年並みに

なりました。その後、台風が来てからは、高温や日照時間の低下などのため9月頭までは登熟はゆっくり進みました。籾数が多いため、青みが残ったものの、刈り取り適期は平年並みに。各地域の収穫作業は順調に進んでいます。

◎村山は105「やや良」  
東北農政局山形地域センターは9月26日、平成26年産水稻の9月15日現在の作柄状況を発表しました。山形県内の10a当たり予想収量は620kg、作況指数は104の「やや良」と見込んでいます。地域別の作況指数では、村山が105（10aあたり予想収量635kg）、最上は103、置賜は104、庄内は105と見込まれています。

17日、大高根が19日、村山中央が21日から荷受けを開始し、順調に稼働しました。また、平成26年産米の放射性物質検査が旧市町村単位で行われ、当JA管内を含む、山形県内全ての市町村で不検出となりました。

出番です!!

平成26年産米

集荷・買い入れ作業とともに快調



▲入賞した柴田さん。手にしているのは、手塩にかけて育てた「アールスのぞむ」

**温室メロン 品質良好**  
村山営農センター温室メロン生産部会は9月8日、中央集出荷場で目揃い会を開催しました。主力品種の本格的な出荷を控えた部会メンバーたちが選果基準を確認しました。  
また19日には平成26年度山形県温室メロン品評会が行われ、同部会の柴田一弥さんが優秀賞を受賞。約40年間メロンを作ってきた柴田さん、「与える水の量や湿度が一番神経を使います」と話してくれました。出荷は10月下旬まで続きます。



▲目揃い会で、等級や大きさを確認



▲旬の地場野菜がずらり。「今夜はいも煮がいいべが？」

**産直「つなぎ」2年目の創業祭！**

オープン2周年となる大石田農作物直売所「つなぎ」で、9月26日から3日間、創業祭が開催されました。里芋やごぼう、ナスなどの野菜が特価で販売され、来店者に玉こんにやくや粗品の贈呈も行われました。初日の朝から大勢が訪れ、新鮮な野菜を買い求めていました。



▲市場関係者が集まる中、鎌田政光部会長があいさつ

**今季のすいか販売実績を報告**

J Aみちのく村山すいか生産部会は9月16日、「平成26年度 J Aみちのく村山すいか生産部会販売求評会」を開催。重点取引市場19社の販売担当者と生産者代表、J Aの担当職員が出席しました。今季のすいかの販売実績が報告され、7月に行われたトップセールスなど、消費拡大に向けた取り組みも紹介されました。

**みんなで競って楽しんで スポーツの秋**

**9/4 第18回 J Aみちのく村山ふれあいゴルフコンペ**

当J Aのふれあいゴルフ愛好会は、村山市のさくらんぼカントリークラブで「第18回 J Aみちのく村山ふれあいゴルフコンペ」を開催しました。



▲始球式でナイスショット！

組合員で構成している愛好会メンバーならびに関連団体あわせて26パーティ、96人が参加。有路好彦会長の始球式に続いて、各メンバーごとスタートしました。



▲個人の部で優勝、寺西保夫さん(左)



▲好天のもと、楽しくプレー



▲37打のスコアで優勝。尾花沢支店代表の井上正明さん(左)

**9/12 第13回 J Aみちのく村山組合長杯グラウンド・ゴルフ大会**

尾花沢市の花笠グラウンド・ゴルフ場で「第13回 J Aみちのく村山組合長杯グラウンド・ゴルフ大会」が行われました。地区予選を勝ち抜いてきた年金友の会会員94選手が、10月に開催される県大会の出場をめざしてプレーしました。



さあ 何点かな？

**9/10 J Aみちのく村山女性部スポーツ親睦会**

尾花沢市の花笠グラウンド・ゴルフ場で、女性部のスポーツ親睦会を開催。約50人が参加し、部員たちは起伏のあるコースを巡りながら、競技を通して親睦を深めました。終了後には食事会を行い、部員が持ち寄った漬物や、豚汁などを全員で味わいました。



▲打ち立ての香り高いそばをどうぞ！

**今年も盛況、そば花まつり**  
今年で17回目を迎える「そば花まつり」が9月6日、村山市の大高根地域市民センターで開催。そば屋台では、職人が打ったそばが提供されました。当J Aの村山地区女性部大高根支部も出店し、かき氷や焼き鳥を販売しました。バスによる観光地周遊や、「そば花娘」を撮影するフォトコンテストも実施されました。

**地域の話題**

# 平成26年産さくらんぼの作柄と今後の対応

## 北村山農業技術普及課

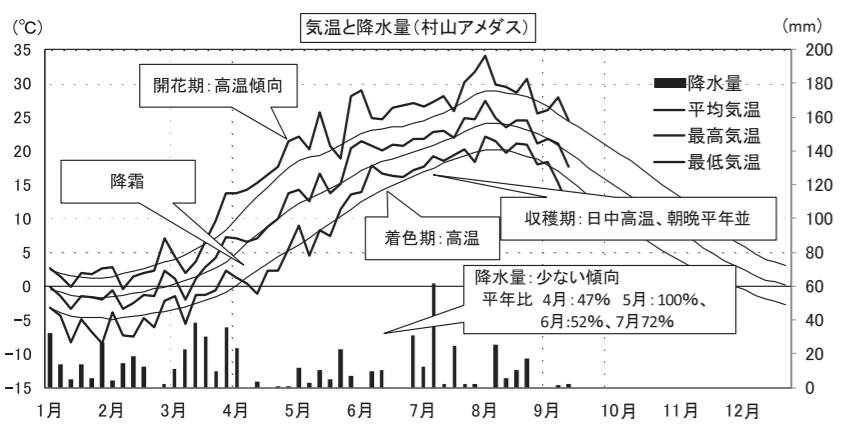


図1 気温と降水量の経過 (村山アメダス)

【本年の作柄】  
1. 結実は昨年より少ないが、良好  
「佐藤錦」の満開期は、

4月30日～5月3日頃で風や小雨がみられたものの、結実は、概ね良好でした。しかし、地域や園地により結実に差がみられました。2. 果実品質は例年並、ただし裂果あり  
果実は、L級中心となり着色も前年より良好となりました。しかし、6月上旬の降雨による果頂部の裂果の発生、6月下旬の大雨による軟化等により、正品率がやや低下しました。

【今後の生産に向けて】  
今年の気象の特徴の一つとして、降水量が少ないことがあります(図1)。今後、安定した生産をする上で、かん水は、受粉樹や訪花昆虫とやらんで重要なポイントであり、かん水設備の導入もぜひ検討しましょう。

1. 安定した着果に向けて  
毎年、着果が少ない園地は、受粉樹が少ないこと、

「佐藤錦」と開花が合う受粉樹が少ないことなどが要因として考えられます。そのため、「佐藤錦」の開花期と合う受粉樹を、1品種だけでなく数品種導入し、「佐藤錦」の開花期間をカバーできるようにします。特に「紅さやか」は、花粉量も多く開花期間も長いことから受粉樹に適しています。

また、平成24年のように開花期が天候不順になると訪花昆虫が活動できなくなります。そのため、開花期の雨よけ施設の被覆も検討する必要があります。

2. 安定した品質に向けて  
昨年のように着果が多い場合は、早期に摘果し、着果過多で果実品質が低下しないようにします。

また、着色管理で過度の葉摘みを行うと、糖度の低下、着色不良(オレンジ色の着色)を招くので、取りすぎないようにします。

さくらんぼの安全作業 10か条	
1	脚立や高所作業台車などの作業機および雨よけ施設のクランブやマイカ線は事前に点検整備しておく。
2	早朝から作業する場合、前日は飲酒を控え十分な睡眠をとる。
3	動きやすい服装や滑りにくい靴で作業する。
4	高所作業ではヘルメットを着用する。
5	風が強い時や雨上がりには、被覆資材や防鳥ネットの被覆作業をしない。
6	作業前には準備運動を行い、体をほぐしてから作業に取り掛かる。また、作業手順や安全の確認を必ず行う。
7	作業は複数人数で行い、作業中は合図・連絡を確実に行う。
8	脚立は園場作業に適したものを選び、チェーンをかけて使用する。また、最上段に登って作業しない。
9	高所作業台車は周囲の安全を確認して使用する。
10	作業中は適度に休憩を取る。また、連日作業が続く場合は、疲労回復に留意し、疲れたら無理せず作業を行わない。
<高齢者のみなさんへプラス 1か条>	
1	体力を過信せず、無理は絶対にしない。

図2 さくらんぼの安全作業10か条+1か条 (安全対策事例集より)

### 【安全なさくらんぼ作業に向けて】

今年、さくらんぼを始め、農作業事故が多く発生しています。これを受け、県農業技術環境課では、「さくらんぼ作業の事故防止のために 安全対策事例集(第1版)」を作成しています。その中には、さくらんぼの安全作業10か条(図2)や、被覆資材・防鳥ネットの被覆作業の注意点や安全対策の事例、脚立を使った作業の注意点、高所作業台車を使った作業の注意点が記載されています。さくらんぼ作業だけでなく、農作業全般に共通する部分もありますので、ぜひ参考にしてください。

なお、この安全対策事例集のカラー(PDF)版が「やまがたアグリネット(あぐりん)」 <http://agrin.jp/page/22065/> にアップロードされていますので、ぜひ活用してください。



▲人気キャラクターたちが登場

▲あいさつする高谷組長

## アンパンマンと学ぶ交通ルール

県内6JAとJA共済連は9月7日、天童市スポーツセンターで「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開催。親子連れ約2千人が会場を訪れました。当JAの高谷尚市組合長のあいさつに続き、ステージにアンパンマンやメロンパンナちゃんなどが登場。楽しく交通ルールを学びました。



▲尾花沢交通安全協会・笹原光政会長(左)から、支店長へグッズを贈呈

## キャラバン隊訪問 目指せ事故0(ゼロ)

村山地区の警察署や交通安全協会などで組織される交通安全キャラバンが9月25日、当JA大石田支店を訪問。暗闇でも光る反射板やキーホルダーなどの啓発物品が、有路広之支店長へ手渡されました。



▲皆で盛り上がるひととき。話題は尽きません



▲ロールプレイング形式で窓口対応を実践

## お客様対応のスキルを発揮

当JA共済部は9月2日、「自動車共済カウンターセールスコンクール」を開催。各支店の共済担当職員が、日頃の顧客対応のスキルを競い合いました。窓口を訪れたお客様に、職員が応対するという場面設定で行われ、葉山支店の押切みどりさんが最優秀の評価を受けました。



▲華やかな衣装とにぎやかな音楽で盛り上げ

## 踊りで祝う誕生会

尾花沢地区女性部は9月12日、尾花沢デイサービスセンター「和光園」を訪問。センター利用者の誕生日に「南中ソーラン節」などの踊りを披露しました。利用者の人たちは手拍子をしたり歌を口ずさんだりして楽しんでいました。

## デンシヨン高めマ 青年部交流

当JA青年部は9月5日、大石田中央集荷場の敷地内で交流会を行いました。管内のメンバーやJAの役員など40人が参加し、七輪を囲んで会食。青年部メンバーは仲間同士での語らいの機会を楽しんでいました。今後の活動の打ち合わせのほか、農協改革について話題になる場面もあり、参加者の一人は「若い人と話していると前向きな気持ちになれる」と話していました。



尾花沢市原田

おお やま りん たろう  
大山 凛太郎くん (7カ月)

◆華子さんから、凛太郎くんへ  
「優しさと思いやりをもって、友だちがいっぱいできる男の子になってね！」

真吾さんと華子さんの長男の凛太郎くん。食欲旺盛で、離乳食ももりもり食べる育ちざかりです。赤ちゃん用のジャンプ台で跳びはねているとご機嫌で、「忙しいときはこれで子守いらすです」とお母さん。けれど、一人遊びでさみしくなると泣いちゃうこともあるそうです。まだ言葉はしゃべれないけれど、テレビを見て歌うのも大好き。最近は、早くも寝返りを卒業して腹ばい歩きをするようになった凛太郎くん、ハイハイする日ももうすぐです！



そばを茹でる佐藤さん。自分で栽培したそばで、そば屋「おんどりそば」を営んでいます。

ふれあい  
Essay  
〜エッセイ〜

「もうすぐ新そばの季節」

村山市山の内 佐藤和幸 (52歳)



真っ白なそば畑。そばの花一つひとつは小さいが、一面に広がるとまるで白いジュータンか、雪が降ったように見事である。

そばの花が満開の九月六日には、大高根地区で17回目となるそば花まつりが開催された。地元そば生産者とそば街道が共同で行うイベントで、「そば」を素材として、地域をあげて行われる。今年も多く来場者にそばの花を観賞してもらい、打ちたてのそばを味わって頂いた。地元女性(そば花娘)をモデルにして、そばの花畑をバックに撮影するフォトコンテストも実施され、農家の方が案内役となつて地区内を巡る(ジュンサイ沼、準の瀬など)シャトルバスも運行された。

さらに、地元農産物の直売なども行われたそば花まつり地区民の協力なくしては成り立たないまつりである。

北村山はそば栽培に適した気候風土で、質・量とも県内随一の産地である。村山の「でわかおり」尾花沢の「最上早生」大石田の「来迎寺在来」は、各地域で品種の特性を生かしながら守られ続けている。地元生産者とそば店が一体となり、

なり、地産地消はもちろん、食の安全・安心にもつながっている。

二市一町のそば街道(おくの細道最上川そば三街道協議会)も連携し、三つのそばを食べ比べるイベント等を開催し、北村山のそばのPRに力を入れている。

もうすぐ新そばの時期、心待ちにしているファンも多い事だろう。そば職人も、新そばの魅力に心を引かれ、打つ手に力が入る。そばのおいしい条件、「挽き立て・打ちたて・茹でたて」がそろった「三たてそば」にもう一つ、「採れたて」を加えた「四たて」の香り高い新そばを味わってほしい。各そば街道でも新そばまつりを開催する予定だ。皆様のおいでをお待ちしております。



尾花沢市富山  
いし やま かおり  
石 山 香さん (23歳)  
☆星座・おとめ座  
☆血液型・A型

かがやき!  
Lady

▽今の職業は?  
尾花沢市のお菓子屋さんで働いています。

▽趣味は?  
服を買いに出かけたり、DVDを観たりするのが好きです。

▽理想のタイプは?  
私は優柔不断なところがあって、引っぱってってくれるタイプがいいですね!

▽今やりたいことは?  
ドライブが好きなので、ゆっくり時間をとって遠出したいです。いろんなお店を覗いたりしたいな。

▽好きな農産物は?  
米とスイカはよく食べます(笑)

▽農業について一言  
農作業は、夜は遅いし朝は早いし、夜通し機械を動かして…大変そうです。小さい頃、父の農作業を手伝うのが楽しかったです。

あれこれ  
〜遊・楽・Time〜

近所の友だちに誘われて、60代からゲートボールを始めたキウさん。最初は7、8人くらいだった仲間もどんどん増えていきました。牛房野チームの一員として組合長杯に出場し、優勝したこともあります。「でも最近はメンバーも減ってきました。とりあえず今の仲間と楽しくやっていきたいです」とキウさん。練習は、農作業の合間を縫うようにしてやっているそうです。「仲間同士で言いたいことを言い合って、たまには練習をかねて温泉旅行に行ったりして…。面白くてやめられません」と笑顔で話してくれました。



▲牛房野チームの仲間たち

尾花沢市牛房野  
ほしかわ  
星川 キウさん (81歳)



## 理事会 だより

第7回理事会が9月22日開催。主な議案と内容は次のとおりです。

- 第1号 平成26年産米の取扱い方針について
- 第2号 平成26年度賦課金の徴収について
- 第3号 農産物検査業務規程の一部変更について
- 第4号 大口貸出の承認について
- 追加議案1 平成25年産米(JA米・一般米)販精算の実施について

### 【報告事項】

- 理事会への経過報告および行事予定について
- 主要勘定・安全性の指標について
- 平成26年販精算監事監査実施要領について
- 節電計画の取組経過報告(平成26年8月末)について
- 平成27年産つや姫生産者募集取扱いについて
- 米価下落に関する請願・要請について
- 平成26年度大玉すいか販売実績について
- 米の放射性物質検査の実施について
- JA貯金「サマーキャンペーン2014」の実績について

## 10月の税務相談

相談ご希望の方は、お気軽に10月27日(月)まで本店管理部総務課(☎55-6311)へお申し込み下さい。相談日時など詳細については後日直接本人にご連絡いたします。なお、相談は無料です。

## 収穫感謝生活フェア展示即売会

- ◆日時/10月25日(土)・10月26日(日) 午前10時～午後5時
- ◆場所/JAグリーンおばなざわ駐車場で特設会場

## 道の駅尾花沢「ねまる」収穫感謝祭

- ◆日時/10月25日(土)・26日(日) 午前9時～午後6時
- 11月1日(土)・2日(日) 午前9時～午後5時

## (株)みちのくサービス秋の収穫感謝祭

- ◆日時/10月25日(土)・26日(日) 午前10時～午後5時

## 大石田収穫感謝祭

- ◆日時/11月8日(土) 午前9時～午後3時
- ◆場所/JAグリーンおおいしだ特設会場  
寝具まつり、産直「つなぎ」出張販売、平成26年産つや姫の販売などなど、盛りだくさん!!

## ふるさとフェア村山

- ◆日時/11月2日(日) 午前10時～午後1時
- ◆場所/本店

## ジュエリーフェア・紳士服展示会

- 【尾花沢】◆日時/11月7日(金) 午前10時～午後7時  
11月8日(土) 午前10時～午後6時
- ◆場所/尾花沢営農センター3階
- 【村山】◆日時/11月14日(金) 午前10時～午後7時  
11月15日(土) 午前10時～午後6時
- ◆場所/本店3階ホール

## 廃プラ回収最終日程

- 【村山】10月23日(木) 大倉・西郷・葉山・大高根・戸沢  
10月24日(金) 楯岡・袖崎
- ◆回収時間/午前9時～午後3時(正午～午後1時まで昼休み)
- ◆回収場所/河島工業団地内(有明泰)
- 【尾花沢】10月21日(火) 全地区 10月22日(水) 全地区  
11月6日(木) 全地区
- ◆回収時間/午前9時～正午
- ◆回収場所/東部すいか選果施設付近(尾花沢)
- 【大石田】10月29日(水) 豊田・海谷 10月30日(木) 大石田・横山
- ◆回収時間/午前8時～午前10時
- ◆回収場所/西部すいか選果施設付近(大石田)

## 不要農薬と農薬空容器の回収廃棄処分の実施について

- 【村山】◆日時/11月26日(水) 午前9時～午前11時
- ◆場所/葉山事務所(旧葉山支店)
- 【尾花沢】◆日時/11月6日(木) 午前9時～午前11時
- ◆場所/東部すいか選果施設付近(尾花沢)  
※廃プラ回収とあわせて実施します。
- 【大石田】◆日時/11月8日(土) 午前9時～午前11時
- ◆場所/グリーンおおいしだ前駐車場

- 《廃棄料金》◆150円/1kg(消費税別)
- ※1kg未満の場合でも1kgと計算します。
- ※支払いは現金または貯金振替になります。
- ※一部、水銀剤等の特別管理農薬は別途料金(全て実費徴収)となります。

詳しくは、各経済事業所までお問い合わせ下さい。

## 平成27年産『JAみちのく村山・つや姫』生産・販売取扱要領 ～「つや姫」生産者認定制度実施要綱に基づく農協の取り組み方針～

JAみちのく村山トップブランド米として“つや姫”の生産・販売に取り組み、産地評価の向上と栽培農家の所得向上を図る。

### ブランド化の基本方針

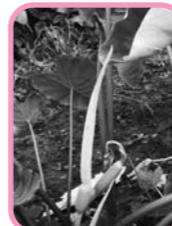
- 1 品質・食味・安全の三位一体の栽培法**  
「品質・食味・安全の三位一体の栽培法を重視した高級感のある米」を目指していくものとする。
- 2 品質管理を徹底し、消費者・流通関係者の信頼獲得**  
品種特性を生かすためには、栽培適地内で、かつ栽培マニュアルを遵守することを基本として、品種特性を100%発揮できる品質と食味基準を設け、品質管理を徹底し、消費者・流通関係者から信頼される栽培を行うものとする。
- 3 高い品質を確保し、トップブランド米としての販売**  
品質基準(出荷規格等)を設定し、これを満たす米を出荷するものとする。

- 生産** 特別栽培米による取組みとする。  
営農センター毎に施肥・土づくり並びに病害虫・雑草防除体系の統一の取組み、種子はJA施設で一括処理し、作付配分面積に応じた種子量を供給する。(温湯法または微生物資材処理による催芽粉供給)  
※特別栽培米：1年間の化学由来窒素量と農薬成分回数を、県が設定する慣行量(回数)の5割以下で栽培する米。
  - 集荷・調製** カントリーエレベーターでの集荷とし、色彩選別機・食味計を活用した高品質で均質な調整、バラ出荷など実需者の多様なニーズに応える出荷体制。これに伴い、品質・食味に関する「出荷基準」を踏まえた、JA独自のブランド米助成措置を講ずる。
  - 販売** 地域拠点であるカントリーエレベーター機能を最大限活用した多様な販売・地元の消費拡大に向けたJA独自の精米販売などを積極的にすすめ、トップブランド米としての地位確立と生産者手取りの拡大を目指す。
- ※その他山形県の認定に必要な項目は、山形県の27年産「つや姫」生産者募集要項による。

並んでくっついた巨大ナス  
「まるでグローブだナッス！」  
大石田町里  
阿部 弘さんより



色は黄色でほっそり  
珍しい「サトイモの花」  
村山市楯岡 小野 松雄さんより



桐の木に葛がからみついて…  
「ゴジラ出現！」  
大石田町新山寺  
今田 敦一さんより

ネズミのようなじゃがいも。  
2つ並んで夫婦仲良し!?  
村山市楯岡  
鈴木 勇二郎さんより



お米のビックリ展示コーナー  
変わる珍

## 管内の5畜産農家が入賞

山形市の(株)山形県食肉公社で8日、第22回山形県内産山形牛枝肉共進会が開催されました。県内で生産され肥育した黒毛和牛125頭が出品。当JAの畜産農家は以下の成績を収めました。

- 優秀賞1席・(有)スカイファームおざき
- 優秀賞2席・(有)水上畜産
- 優秀賞3席・尾崎一博さん
- 優秀賞4席・東海林和博さん
- 優良賞・加藤直一さん

JAみちのく村山・恒例の歌謡ショー募集企画  
被災地復興支援企画!!  
今年は豪華  
2本立て!!

## 小林幸子・ツートン青木

- ◆旅行実施日  
平成26年 11月19日(水)～20日(木)
- ◆旅行代金(おひとり様)/30,800円(税込)  
※和室3～6名1室利用基本となります
- ◆募集人員/80名(最少催行人員30名)
- ◆添乗員/同行いたします。
- ◆食事回数/朝1・昼2・夕1
- ◆宿泊旅館/気仙沼温泉 サンマリン気仙沼ホテル観洋
- ◆申込締切日/平成26年10月10日(金)
- ※定員になり次第締切りとさせていただきます